

なかしべつ 議会だより

No.142
令和6年7月



6月12日(水) 中標津東小学校絆まつり(運動会) 伝統の鯉の滝登り

主な内容 6月定例会 (P2)

請願 (P3)

一般質問 8名 (P4~8)

委員会総括・議長総括 (P13・14)

議会ホームページ



6月定例会 全議案可決

補正予算など

令和6年6月定例会を6月17日から21日まで開催。補正予算および条例改正などの議案について審議し、議決しました。

■令和6年度一般会計補正予算

◇一般会計補正予算（第1号）

3億3095万7千円を追加し、総額162億2295万7千円となりました。

（単位：千円）

	総務費	民生費	衛生費	農林業費	商工費	教育費	計
補正額	138,450	150,706	36,839	1,534	3,000	428	330,957

【主な補正内容】

《定額減税調整給付金給付事業》

【事業費：1億3495万円】

《低所得世帯臨時特別給付金給付事業》

【事業費：6282万4千円】

《子育て世帯臨時特別給付金給付事業》

【事業費：529万8千円】

《児童手当制度拡充》

【事業費：8138万4千円】

《新型コロナウイルスワクチン定期予防接種助成事業》

【事業費：3186万2千円】

接種対象：満65歳以上の町民で接種希望者

満60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害または免疫機能障害を有する町民で接種希望者

接種期間：令和6年10月1日から令和7年1月31日まで

接種費用：自己負担額 2800円 ※生活保護世帯は自己負担なし

（接種料15300円－国8300円－町4200円＝2800円）

◇一般会計補正予算（第2号）

2058万6千円を追加し、総額162億4354万3千円となりました。

《町たばこ税道交付金》

【事業費：2058万6千円】

令和5年度のたばこ税収が課税定額（全国平均2倍）を超えたため、翌年度超過額を北海道に納付する交付金（交付金の75%相当が令和6年度普通交付税で補填されます。）

■条例の一部改正

◇中標津町監査委員条例及び特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

■その他

◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

◇工事請負契約の締結（豊岡35線道路改良工事）

◇財産の取得（除雪トラック購入その1・その2、ロータリ除雪車購入）

■報告

◇令和5年度中標津町一般会計継続費繰越計算書の報告

◇令和5年度中標津町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

発達障害の子供達への支援を強化することを 要望する請願は一部採択と決定しました

令和6年3月定例会で厚生常任委員会に付託された請願について、6月21日（金）、定例会本会議で松村康弘委員長より報告され、採決の結果、請願審査報告書のとおり一部採択となりました。以下に報告書委員会の意見を抜粋し掲載します。



趣旨については、町内小中学校及び義務教育諸学校児童生徒の12%が発達障がいを抱え、結果として根室管内が全道で最も多い一方で、当町には放課後等デイサービスを提供する施設が2カ所しかありません。その利用人数では放課後における発達障がいの子ども達が、あるがままに社会参加できるための適切な時期に受けられる支援をはじめ、発達のライフステージ別の課題に対応する機会が満たされていません。本年4月1日から障害者差別解消法で義務化された「合理的配慮」のもと、しっかりとした支援体制と政策の確立、予算措置の観点から、次の2点の実現が求められているものです。1点目は、放課後等デイサービスの収容人数の強化、2点目は、公認心理士の増員配置の検討です。

まず、1点目の「放課後等デイサービスの収容人数の強化」は不採択とします。1日の施設利用人数の増加は施設の運営維持が厳しくなることや、新規施設設立には、必ず1名以上の配置が義務付けられている児童発達支援管理責任者等の早急な人材確保が難しいためです。

しかし、放課後等デイサービスの利用登録を行い、月に20日間の通所上限がありながら、平均週2回、月8回の利用しか叶わない実態があります。また、施設利用の判断準が明確に定められていないため、障がいの程度に応じた施設利用がされていなく、さらに本庁舎には専門の相談窓口がないことから、町内各学校や放課後等デイサービス施設、教育相談センター等との連絡体制や、真に思い



放課後等デイサービスセンター「とらいあんぐる」



放課後等デイサービス「たいようとクローバー」

悩む保護者に寄り添う配慮が不十分なところがあります。中標津町児童センター「みらいる」に放課後等デイサービスの機能を追加することは、「みらいる」では療育が行えないとの観点から、実現は難しいという所管の見解を確認しました。しかし、必要な支援を待ち望み、支援を求めている保護者のお話を伺うと、子ども達の活動拠点・居場所づくりという観点に加え、インクルーシブの理念を取り入れ、心の垣根がない施設への転換が、より幅広い子ども達の交流の場となる必要性を強く感じています。

職員の追加配置は必須となりますが、チャイルドアドバイザーの活用や保護者同士で助け合うことで、「みらいる」に障がいのある子ども達の活動拠点が設置されれば、多くの課題解決につながることから、今後、検討するよう要望するものです。

次に、2点目の「公認心理士の増員配置の検討」については採択とします。

公認心理士の増員のみならず、補助要員の配置により、児童発達支援管理責任者資格取得に向けた人材育成と、「みらいる」における活動拠点強化支援にもつなげていくことを検討するよう要望するものです。

以上のことから、発達障害の子供達への支援を強化することを要望する請願については、一部採択すべきものと決定しました。

厚生常任委員会 委員長 松 村 康 弘

6月定例会で以下の項目について町長および教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. 作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況について
4. 中標津空港の利用促進について
5. 外国人財誘致推進事業について
6. 令和6年度建設工事の発注状況について

教育行政報告

1. 令和6年度町立学校学級編制について
2. 令和6年3月卒業の中学生・高校生の進路状況について



詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>

一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 世帯収入を上げる仕組みについて

答弁 地域経済の活性化に向けた施策を進めてまいります

むねかた かずき
宗形 一輝 議員

質問1

3月定例会の厚生常任委員会代表質問に対し、町長は世帯収入が増えなければ最終的にうまくいかないことから、世帯収入が増える施策につながるよう努力していきたいと答弁されました。

答弁の先にある施策は具体的にどのような事業・目標数値を考えているのでしょうか。

町長答弁

現在取り組んでいる事業を効果検証のうえ展開し、中・長期的な視点で地域経済の活性化に向けた施策を進めてまいります。



質問2

世帯収入を増やすために、町の企業が総売り上げ収入をさらに増やしていく方法について、町独自の施策を展開していく必要があると考えますがいかがでしょうか。

町長答弁

新商品開発等チャレンジ支援事業を創設しています。

質問3

名古屋市のように市民税・法人市民税を減税し、家庭・企業のお金を増やしたことにより、消費が拡大し、人口の社会増・事業者数の増加につながっています。

本町も商業が強い町として、研究していく価値はあるのではないのでしょうか。

町長答弁

財政状況や立地条件、産業構造などの地域特性が本町とは大きく異なり、質問の施策を導入することは困難であると考えます。

質問 軟骨伝導イヤホンを窓口に

答弁 試験導入を含めた調査研究をします

江口 智子 議員

質問



加齢性難聴は認知症になる最も危険な因子と言われていますが、2004年に発見された第3の聴覚である軟骨伝導を応用したイヤホンが昨年発売されました。すでに100を超える自治体や病院等に導入され、その聞こえの良さに驚く人もいます。

役場でも、高齢の方に職員が大きな声で説明するのを叱っているところも聞かれましたが、小声でもはっきり聞こえ、個人情報や相談内容を聞かずに済みます。

また、耳の後ろにかける仕様で清潔に使うことができるため軟骨伝導イヤホンを、高齢者への住民サービス

の向上に、役場や病院の窓口を導入してはいかがでしょうか。

町長答弁

役場の窓口では、ごなたにもわかりやすい対応を心がけていますが、感染症対策のアクリルパネル設置や、職員のマスク着用により、大きな声での説明が必要な状況にあります。

導入することで、プライバシー保護に役立ち、衛生的であることなど、行政サービスの向上や、来庁者と職員双方の負担軽減につながる可能性を考え、試験的導入を含め調査研究します。

再質問

具体的にはいつ頃の導入を目指しますか。

町長答弁

すでに導入している自治体もありますので、聞き取り調査をし、効果等の検証をしたうえで、積極的に考えていきます。

質問 地域高規格道路釧路中標津道路整備促進期成会は機能しているのか

答弁 今後も各関係機関と協力体制を維持し計画を進めます

高橋 善貞 議員

質問1



令和3年6月定例会の一般質問で、高規格道路の釧路根トラライアングル整備構想3路線（釧路～根室・根室～中標津・釧路～中標津）の優先順位は決めるべきではないと町長は答弁しています。

しかし、昨年の6月定例会では中春別～中標津間を優先する答弁と、11月には釧路根室道路期成会として国土交通省等に出向き直接要請を行っていました。

これらの発言と行動から釧路中標津道路の優先順位について、町長は3番目と考えているのでしょうか。

町長答弁

根室管内全体で振興発展することが重要で、優先順

位が3番目とは考えていません。

質問2

釧路中標津道路は、釧路市に緊急患者搬送・高度医療など「命の道路」として整備の重要性・緊急性を再確認すべきであり、さらに酪農生産物・飼料・海産物等を運ぶ重要な産業道路として認識していますか。

町長答弁

根室管内4町にとつて釧路市の3次医療を受けるための重要な道路であり、物流の幹線道路としても十分認識しています。

質問3

釧路中標津道路期成会会長として、国土交通省などに直接要請活動を行う考えはありますか。

町長答弁

国や関係機関、管内自治体と歩調を合わせて、引き続き粘り強く要請活動を展開していきます。

質問 格子状防風林の生態系を観光資源の位置づけに

答弁 調査研究した成果からすそ野を広げて観光につなげてまいります

まつむら やすひろ
松村 康弘 議員



質問

「ナカシバツ大学」で宇宙からも見える北海道遺産、格子状防風林とそこに生きたる野生動物に関する講演会が開催され、道内でも例をみない規模と、野生動物の多様性・数の多さについて説明がありました。

中標津では、農道を歩くだけで多くの野生動物に出会えます。

キツネなどをよく観察すると、人に出会って逃げ出しても牧草地から防風林の際まで行つて立ち止まり、逆にこちらの様子を伺っています。

様々な動物が安全地帯である防風林の際で、農家のトラクターなどの動くさまを眺めて人間との距離感を

学習していると思われる。このような野生動物と人間の営みが共生している状況は、とても稀だと考えます。

ぜひ、都会の人々を招いて、この野生動物の多様性を実感してもらえ、ことは素晴らしい着地型観光の姿であり、観光の大きな柱と位置付けてはいかがでしょうか。

町長答弁

平成17年度「中標津町の格子状防風林保存活用事業」の中で、詳細に調査された生態系については、小学生を対象に教育を通して意識の醸成を図っています。

学芸員が調査・研究した成果を「ナカシバツ大学」や子どもたちの教育を通じて、本町の魅力のすそ野を広げ観光につなげてまいります。

他の一般質問

●二酸化炭素削減の専門職配置を

質問 岩谷学園ひがし北海道 I T 専門学校のコース拡充に向けた取組を

答弁 学生の定員充足に向けた必要な協力を行ってまいります

あべ たかひろ
阿部 隆弘 議員



質問

岩谷学園ひがし北海道 I T 専門学校は、令和5年11月認可、令和6年4月開校により、地域未来情報テクノロジ科「農業酪農 I T コース・商工業観光 I T コース」に本年度4名の学生を迎えることになりました。

令和3年12月には、学校法人岩谷学園、誘致の会、商工会、中標津町・計根別農業協同組合、建設業協会と本町との連携協定を締結、さらに令和6年3月、北海道根室振興局・教育局と包括連携協定が締結されました。

この I T 専門学校の将来を見据え、「スマート漁業」

に対応する「漁業 I T コース」を検討するよう、根室振興局を通じて、管内漁業協同組合、また、「スマート林業」に対応する「林業 I T コース」を検討するよう管内森林組合と1市4町との連携協定を締結し、さらなるコースの拡充を求めてはいかがでしょうか。

さらに、管内の農業・商工業・観光関係団体との連携協定の締結を行うことにより、学生の増加に期待できるものと考えます。

既存コースの充実・新設により、根室管内唯一の専門学校とのさらなる充実・強化に繋がり、管内市町村の産業振興・人材育成・交流人口の増加に貢献できることが期待されます。

町長のお考えをお聞かせください。

町長答弁

学生の充足に向けた地域内外への積極的な情報発信など、必要な協力を行ってまいります。

質問 介護支援ボランティアポイント制度の導入を

答弁 導入に向け調査研究を進めてまいります

佐久間 ふみ子 議員

質問

ボランティアポイント制度は、65歳以上の高齢者が介護支援のボランティアを行い、活動実績をポイント化し貯まったポイントを換金や商品交換などができる仕組みです。

介護施設などで、散歩の外出補助や話し相手・配膳等のボランティア活動や、自らの介護予防となる取り組みと地域のサロンでのボランティア活動などがポイント付与の対象となります。

本町の高齢福祉計画の中に介護ボランティア活動の普及を図るため、ボランティアポイントを活用した



ネットワークの構築を検討していくとあります。本人の健康増進・介護予防につながることや、社会参加・地域貢献に通じる生きがいづくりの促進ができる本制度の導入をすべく考えますが、町長のお考えをお聞かせください。

町長答弁

元気な高齢者が介護支援ボランティア活動を通じて社会参加・地域貢献を行うとともに、高齢者自身の健康増進も図っていくことを積極的に支援することは重要と考えます。

このことが介護予防につながり、介護現場の人手不足の解消の一助になるものと考えています。

また、より多くの方が介護支援ボランティアとして活動していただくためには、ポイント付与は有効な手段と認識しています。

今後、先進事例を参考にしながら、導入に向けて調査研究を進めてまいります。

質問 賞味期限による飲料水の更新廃止を

答弁 賞味期限を保管の目安とします

平山 光生 議員

質問

防災備蓄品にある飲料水は、大きなペットボトルで6800本あり、更新後に置場がない場合には古いものから廃棄ということでした。

お水に限った賞味期限は品質ではなく、表記の容量を維持できるかどうかにあります。

賞味期限が切れたら飲めなくなるのではなく、未開封の状態で正しい保存を行えば、たとえ賞味期限が切れてしまっても半永久的に問題ないと言われています。

食品ロスという観点からも、更新を廃止することで、災害用浄水器やシャワー等の必要備品の購入費用に充



町長答弁

てられるだけではなく、町民自身の防災備蓄率の向上にもつながると思います。町長の考えをお聞かせください。

まずは必要とされている正しい保管を行うことに課題があると考えています。

本町は備蓄食料の保管に適した湿度・温度管理ができる保管場所はなく、長期間の保管に求められる状況にないと考えられます。

賞味期限が切れた飲料水の品質は、メーカーからは保証されていないこと、災害時に配布する際、水を受け取った方に判断を委ねることも適切ではないと考え、現時点では、賞味期限を保管の目安とすべきと考えています。

他の一般質問

●福祉避難所の運営訓練計画は

質問 地域公共交通計画が町民に広く伝わる対策を

答弁 住民説明会も視野に入れて考えます

まつの みやこ 議員
松野 美哉子

質問

地域公共交通活性化協議会は、会議の都度その内容をホームページに載せ町民に伝えられていますが、町民の毎日の生活に深くかわる情報がスマートフォンやパソコンを持っていても、操作が苦手なため広く伝わっていない状況が見受けられます。

これは伝えられずにいるのと同様のことはありませんか。

進んでいる地域公共交通活性化の進捗状況と、町民に伝わる広報対策をお聞かせください。

町長答弁

地域公共交通活性化協議会で、市内循環線について



は、1便当たりの時間の短縮・運行本数・利便性向上のための停留所設定と新路線・高校生の登下校・買い物や病院需要を議論しています。

また、町有バスの武佐・俣落・養老牛の3路線については、デマンド化の可能性も含め抜本的な見直しを検討しています。

これらの実証運行の準備を進め、早ければ令和7年度内に再編を実現させたいと考えています。

決定した内容については、概要版を作成し分かりやすい情報発信をします。

再質問

ホームページを印刷して、役場庁舎ホール・計根別支所・図書館での配置や、出前講座・中間報告会など、対面での計画は考えていますか。

町長答弁

出前講座は5人以上の要望に対応します。

住民説明会も視野に入れて、検討したいと考えています。

議会活動の見える化

昨年9月定例会において、議員定数及び議員報酬増額に関する条例が一部改正され、本年9月改選後から施行されます。

中標津町特別職報酬等審議会からの答申書に示された付帯意見には、「町民が議員活動の評価できる仕組みが必要ではないか」「議員活動及びその成果を積極的に発信してほしい」との意見がありました。

今般、現状でできる取り組みとして、一般質問回数、委員会等出席状況、議決結果・賛否状況をHPで公開することにしました。

今後も適宜更新し皆様に議会活動、議員活動の状況をお知らせしていきます。

詳しくは以下QRコードからホームページをご覧ください。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/mieruka/>



意見書

詳しい内容はホームページに掲載しています。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



議員から意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出されました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 阿部 隆弘 議員

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

提出者 高橋 善貞 議員

全員協議会「第4回防災力アップ講座」

日時：4月23日(火) 13:00～14:30

場所：中標津町役場 3階 302号会議室

第4回の講座は中標津消防署から救急係長等を講師に、救急救命について、女性消防団員の方々に日々の活動について紹介していただきました。救急救命の座学では、脳に3分間酸素が送られないと脳細胞が死滅し始めてしまうため、意識を失った人に対しては「強く・早く・絶え間なく」を念頭に、迅速な心肺蘇生を行うことが肝要であり、あわせてAEDを正しく使用することが大切であると学びました。



続いてグループに分かれ、人形を使用して実際に心臓マッサージやAED操作の練習をしましたが、一定のリズムで5センチの深さにマッサージし続けることは大変で、汗をかきながら実感しました。後日、総務文教常任委員会では講座の総括を行い、女性が倒れた際、胸部を覆うための布をAEDに入れていただくよう、防災係と教育委員会に要望しました。

続いて、3名の女性消防団員に、団員でもある平山議員を加えた4名で、手作りの防火紙芝居を実演していただきました。立体的な消防車が登場して消火をするシーンはとても迫力がありました。2015年に結成された女性消防団は現在団員数11名で、幼稚園やこども園などで紙芝居の実演、小学生への消防グッズ贈呈、じゃがいも伯爵まつりでのPRなど、精力的に活動されています。講師の皆さん、有意義な時間をありがとうございました。

総務文教常任委員会 委員長 えぐち 江口 ともこ 智子

第1回中標津町議会モニター会議

令和6年度第1回議会モニター会議をモニター12名中5名に出席いただき、意見交換を行いました。現在の第4期議会モニターは昨年6月14日に就任以来、4定例会を経て、現在まで9件のご意見をいただきました。ご意見は全議員に周知していますが、モニター全員には情報共有されていません。

日時：4月26日(金) 13:30～15:00

場所：中標津町役場 3階 1・2号委員会室

今回は9件のご意見について、議会側の考え方や今後の対応を議論した中から、特に気が付いた点を記載します。定例会を傍聴して感じた課題として「議員側」の質問に対する「行政側」の答弁を聞いて、質問回数3回の制限が議論を中途半端に終わらせているとのことご指摘でした。現在の「回数制限」を見直して、持ち時間制の検討も必要と感じました。また、これまで「ワールドカフェ方式の議会報告会」「一般質問全文のHP公開」「一般質問要旨の配布」など改善を図りましたが、更に分かりやすい議会運営を進めるためにも「本会議のライブ配信は必要」とのご意見もありました。



今後、本会議等の録画配信も含めて、調査・研究していきたいと思います。他の貴重なご意見も、今後の議会運営の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

議会運営委員会 委員長 たかはし 高橋 よしさだ 善貞

総務文教常任委員会

活動レポート



総務部

●防災について

中標津町地域防災計画(案)が、3月25日開催の中標津町防災会議の承認を経て完了したことが報告されました。

また、令和6年度に釧路根室管内で実施される北海道防災総合訓練のうち、本年12月21日に根室管内で行われる訓練の日程、想定される内容などの説明を受けました。

委員 9月に開催される町の総合防災訓練で抽出された課題は、12月の訓練に反映されますか。

担当 12月の訓練は別な内容となつていきますので、9月の訓練で得た課題等は、来年度の訓練に活かしていきます。

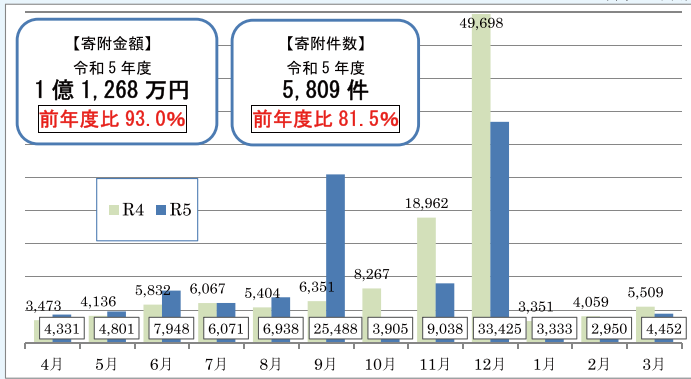
令和5年度 中標津町ふるさと納税実績について(確定値)

1. 寄附金の申込状況について

令和5年度実績 【寄附件数】 5,809 件 【寄附金額】 112,679,800 円
令和4年度実績 【寄附件数】 7,126 件 【寄附金額】 121,109,500 円

図表1 寄附申込状況(月別)

(単位:千円)



●ふるさと応援制度推進事業について

令和5年度の寄附件数は、中間事業者の切替の際、大手サイトからレビューが消えてしまった影響により5千872件、寄附金額は1億1千22万5千8百円となったこの報告を受けました。(推定値)

教育委員会

●教員の働き方改革の現状について

教員の時間外在校等時間の現状と目標値に対する達成度合いが報告されました。

令和6年度の取り組みとして、教育委員会内の指導室を1名増員して学校のバックアップ体制を拡充し、地域学校協働本部や地域コーディネーター、学校運営協議会の活用。

委員 ふるさと応援大使には、

動画による協力のみなならず、牛乳で乾杯条例10周年への協力、姉妹都市であるかわさき市民まつりや東京中標津会など、首都圏で行われるイベントに参加してもらい、活躍していただいではどうでしょうか。

担当 ふるさと応援大使自身は関東に拠点を置いていますので、これから交渉を進めていきたいと思います。

学校サポーターの登録の取り組みを進めていくこの報告を受けました。

また、部活動の地域移行については、本年度より協議会を立ち上げるほか、教職員のストレスチェックの利用向上や長時間労働への医師による面談指導の実施について報告されました。

委員 ストレスチェックは希望者のみですが。また、結果の把握はどのように行いますか。

担当 希望者のみではなく、オンラインで全員が受けられるようになっていきます。結果は教育委員会と各学校の校長が把握し、心理的負担の程度によっては面談等を実施しています。

委員 現在休職している教員はいいますか。

担当 現在はいません。

委員会開催 4月17日

5月13日

(佐久間 ふみ子 議員)

厚生常任委員会

活動レポート



町立病院

●管理運営について

令和5年度病院事業会計決算概要について、純利益額8千96万6千円は、病院移転後一番高い収益となりました。

資本的収支差引不足額2億325万5千円は、前年度繰越財源・過年度分損益勘定留保資金・消費税資本的収支調整額で補填、一時借入金0円この報告を受けました。

委員 コロナ関連の補助金が

終わり、今後の経営見通しは。 **担当** 補助金がなくなることで赤字になる部分や電子カル

テ導入の償還が始まる部分もあり、厳しい状況が予想されます。しかし、令和8年で建物の償還が終了すると、少し希望が見えるため、110床プロジェクト・経費削減を継続し、各診療科の先生方との情報共有・面談を通して病院

全体で方策を取り進んでいきたいと思っています。

町民生活部

●新型コロナウイルスへの対応について

令和5年秋開始のワクチン接種状況は、対象者の41.5%であるこの報告を受けました。

また、今後は65歳以上の町民および60歳以上の慢性高度心・腎・呼吸器不全の町民は、インフルエンザと同様の定期接種化となるこの説明を受けました。

定期接種…自己負担額7千円任意接種…全額自己負担1万5千300円（ワクチン価格の変動により増減する可能性あり）

●住民生活・環境衛生事業について

・合葬墓の運営状況について

4月末現在の申込状況は、相談件数45件、申込件数16件、埋葬者数33体で、生前受付を望む多くの方には、手続きし得る遠戚の方がいる場合が多く、事前に相談をしていたらどうかようお願いしているこの報告を受けました。

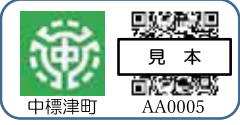
・ごみ処理基本計画の策定について

令和6年度から10年間を計画期間とし、ごみ搬出量の抑制と廃棄物による環境負荷の低減、循環的な利用の推進と分別の徹底、最終廃棄物の適正処分の確保を観点としての本計画の説明を受けました。

●介護保険事業について

・中標津町認知症高齢者等見守りシール活用事業について

行方不明になる可能性のある高齢者等を、地域で見守る体制の充実を図るために、見



見本
中標津町 AA0005

【耐洗ラベル】
(アイロン熱圧着、縦2.5cm・横5cm)

- ・衣類等にアイロンで熱圧着して使用
- ・家庭用の洗濯機や乾燥機にかけても200～300回程度は使用可能



見本
中標津町 AA0005

【蓄光シール】
(シール貼付、縦2.5cm・横4.5cm)

- ・持ち物等に貼って使用
- ・蓄光素材のため暗い場所でも目立つ

守りシール(耐洗ラベル20枚・蓄光シール10枚の合計30枚)を作成。

シールにはQRコードが印字され、発見者が読みとると、登録情報が表示・発見通知メールが自動配信されます。

8月申請受付、9月運用開始予定この報告を受けました。

委員会開催 4月16日

5月27日

(平山 光生 議員)

産業建設常任委員会

活動レポート



●学校法人岩谷学園との懇談会

委員 町が行っている外国人財誘致推進事業の効果はこのように考えていますか。

岩谷学園 町独自の奨学金制度は大変すばらしいです。支援があることで多くの人が中標津を目指しています。

委員 学生のほとんどが富裕層と聞いていますが、奨学金を必要としない学生はいいますか。

岩谷学園 母国では富裕層ですが、日本との物価の違いにより支援を必要としています。



学校法人岩谷学園との懇談の様子

●猟友会中標津支部との懇談会

次のとおり要望がありましたので報告します。

- ・1市4町の垣根を超えた捕獲駆除の許可ができるよう振興局に要請してほしい。
- ・免許更新の際に必要な精神科医の診断書を即日交付できる方法を検討してほしい。
- ・熊を駆除することがいかに大変か行政に理解してほしい。また、経費についても全額補助してほしい。



猟友会中標津支部との懇談の様子

建設水道部

●建設工事の発注・進捗状況について

資料に基づき説明を受けました。

委員 舗装パッチング工事は

繰越明許費などの対応で、もう少し早くできませんか。

担当 前年度予算での対応を今後研究します。

経済部

●ヒグマ春期管理捕獲について

次のとおり説明を受けました。

事業実施日：3月23日、4月6日、20日

捕獲頭数：捕獲実績なし

実施成果：参加者延べ15名のうち6名がヒグマ捕獲経験のない従事者であり、今回の事業実施によりヒグマの追跡、

捕獲活動の経験を積むことができました。

委員 今回の春期管理捕獲は

研修のような内容ですが、今後同じ内容になるのですか。

担当 次回からは、座学研修を行ってから、管理捕獲を実施するよう猟友会と協議しています。

●計根別地区バイオガスパラント建設について

次のとおり調査結果の報告を受けました。

- ・参加に前向きな方が多い。
- ・消化液、再生敷料に大多数が興味を持っている。
- ・バイオガス直接配管供給案で事業可能性が高い。

委員 汚泥や生ごみを利用とのことですが、一般家庭の生ごみを利用しますか。

担当 決定事項ではありませんが、計根別地区の生ごみ利用を考えています。

委員 生ごみは厚生常任委員会が所管なので、そちらにも説明してください。

委員会開催 4月9日

4月18日

5月15日

(山口雄彦 議員)

総務文教常任委員会

委員長
え ぐち とも こ
江 口 智 子

後期委員会では「ふるさと納税」と「防災」を研究テーマに、企業や団体との懇談、道内外の視察を含め、調査研究を進めました。

ふるさと納税は、令和4年12月定例会で委員会代表質問を行い、そのうち、昨年10月から中間事業者の見直しが図られ、専任の地域おこし協力隊も設置されました。

しかし、昨年10月の法改正等の影響により、令和5年の寄附額は1億1400万円と伸び悩んでいて、今後はふるさと応援大使との連携も含め、寄附額増の取り組みが期待されます。

防災は、令和5年9月定例会で委員会代表質問を行い、防災の日を活用した取り組みについては、本年9月29日に町の防災訓練を実施、Jアラートの周知については、中標津市街12カ所・計根別市街1カ所に屋外拡声装置が設置されることとなり、本年は実施設計の予算が組まれるなど、一定の成果を出すことができたと思います。

また、災害発生時に議会としての機能を保ち、行政と連携するため「災害時行動基準」を全議員に提案し了承されました。その後、議員の防災に対する知識や経験を高めるため「防災力アップ講座」を4度にわたって開催するなど、一貫して議会の防災意識向上にも努めました。

町の課題である人口減少対策、自主財源確保、教育委員会所管では、主権者教育、将来的な学校のあり方など、担当部局と活発な意見交換をしながら、継続した調査が改選後に引き継がれることを望みます。



厚生常任委員会

委員長
まつ むら やす ひろ
松 村 康 弘

後期の常任委員会では、当初の重点事項である合葬墓、町立病院の運営、ごみ処理費用負担額削減と、当町の現状から、町内会加入率向上、子育て支援についても項目を追加し、委員会代表質問を通しての政策提案を目標に活動を始めました。

5月と7月に道内外の先進事例を調査し、岡山県奈義町や広島県府中町、道内事業所などを視察しました。

視察で特に学んだことは、子ども子育て政策を実現するために、他の事業を廃止するのではなく、毎年目標に向かって少しずつ予算を積み増していったことや、町内会の積極的な参加協力の下、生ごみのステーション方式収集とバイオ発酵による肥料化と散布を実現していること、町内会活動を持続するためには子ども子育てに注力することが効果を生むことなどです。

それらの知見をたたき台に、昨年9月に「町内会加入率向上に向けた町の取り組み」、12月に「ごみ収集存続危機に対する新たな処理対策の実現を」、本年3月に「子育て応援制度の確立を」と3回の委員会代表質問を実現しました。

本年3月定例会では、「発達障害の子供達への支援を強化することを要望する請願」を付託され、その審査のため関係組織・機関の訪問調査をはじめ、参考人聴取など現状の把握と協議に全力を尽くしました。

結果は一部採択ですが、町民から頼りにされる議会を目指して政策提案できるよう、調査事項をしっかりと引き継ぎます。



産業建設常任委員会

委員長
むね 宗 かた 形 かず 一 き 輝

当委員会ではまず各種団体がどのような方向性で進み、また課題があるのか調査をしていくことにしました。

商工会をはじめ、ＪＡ中標津、ＪＡけねべつ、建設業協会、観光協会、学校法人岩谷学園、猟友会、計７団体と懇談をしました。

１年目の早い段階から計画を立て懇談をすることによって、委員会内で認識が共有され、委員全員が統一された見解で課題に対し議論を重ねることができました。

また、２年目以降も各部局とより深い協議につながったと思います。

近年、ヒグマが生活圏内に出没し事故も発生していることから、猟友会と懇談し要望を受け取ったところです。他の自治体では猟友会に対する報酬が少ないため、猟友会が出動を拒否した事例もありました。当町でもこのような事案にならないよう、また、町民の安心安全な生活を守るため、引き続き担当委員会でも協議を継続し引継ぎをしていきます。

令和５年の研修では、株式会社明治恵庭工場の視察をさせていただきました。恵庭工場でのオートメーション化や各種団体の視察受け入れ等が、当町にできる新工場にも期待されるものと感じました。

この２年間で、多くの課題があり議論を重ねてきました。産業建設常任委員会を１つのチームとして全員団結して進むことができたと思います。



現任期の ４年を振り返って

中標津町議会議長
こ とう かず お
後 藤 一 男

現任期は議会改革に始まり議会改革で終わった４年間でした。

令和２年９月に前任期後半からの引継ぎでもあった特別委員会を設置し、コロナ禍ではありましたが精力的に活動を続けていただき、決定をすることができました。

諮問した付託詳細は、①議会や委員会の機能が損なわれない形の定数削減、②議員の活躍を担保できる報酬、③議論が伯仲する委員会を形成するための常任委員会数と委員定数、④通年議会は議会活性化に繋がるか、⑤自治基本条例の議会条項についての検証と議会基本条例の制定の検討、以上５点でした。議員定数・議員報酬・委員会数は、条例改正を含み決定をしています。

この決定に至る間、町民の皆さんの貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

議会改革特別委員会の研修等を通して、委員会代表質問の実施・分科会の設置などを取り入れ、議会活動を積極的に行っています。特に委員会代表質問は、委員会独自で問題・課題を提起し、それぞれの視察研修を経て代表質問を行っています。

また、不測の事態に備え、議会自らの災害時行動基準を定め対応できるようにしています。

議員の職責は、住民の福祉の向上と地域社会の発展の二つであり、常に町民と向き合いその要望に対応しなければなりません。議員自らがそのことをしっかり自覚した行動が求められています。

来期からは議員定数が１５名になりますが、議会が一つのチームとなって活動していきたいと思っていますので、更なるご理解ご協力をお願いいたしまして、４年間の振り返りといたします。



中標津町植樹祭に参加しました

6月8日中標津町緑ヶ丘森林公園で開催された「令和6年度植樹祭」に、鈴木副議長他議員12名が参加しました。

西村町長と所根室振興局長挨拶のあと植樹祭記念標柱を設置し、根釧東部森林管理署職員により植樹の実技指導を受け、参加者約210名の手で、カラマツ1000本・ニオイヒバ400本・トウヒ400本の合計1800本が植えられました。

曇り空ではありましたが、毎年参加の「緑の少年団なかしべつ冒険クラブ」のメンバーや半袖の幼児の姿もあり、笑顔で心地よい汗を流し楽しい時間を過ごしました。

この植樹祭に関連して排出されたCO₂の一部は、「中標津緑化管理組合」および「中標津建設業協会」に購入していただくJクレジットにより、カーボン・オフセットされます。

植樹祭は「森林環境譲与税」を活用して開催しています。

中標津地域森林・林業・林産業活性化議員連盟

会長 高橋善貞



6月17日 定例会に 計根別学園6年生が 傍聴に来てくれました



議会だよりをお読みの皆様へ

限られた誌面の都合上、掲載できない下記開催の議会内容については、中標津町議会ホームページからご覧いただけます。



●第1回臨時会（4月30日開催）

自治功労者表彰

このたび、後藤一男議長が北海道町村議会議長会から自治功労者（町村議会議長として7年以上在職）として、また、鈴木克弘副議長、佐野弥奈美議員が同じく自治功労者（町村議会議員として15年以上在職）として表彰されましたので、6月17日議場で伝達式が行われました。



左から、鈴木副議長、後藤議長、佐野議員

令和6年4月から6月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
4月5日	交通安全祈願祭	議長	27日	厚生常任委員会（請願審査）	全委員長
8日	岩谷学園ひがし北海道IT専門学校 開校記念式典・記念パーティー	正副議長・ 産業建設常任委員長	6月1日	なかしべつ観光協会定時総会	全副議長
9日	産業建設常任委員会（岩谷学園との 懇談会）	全委員・議長	3日	第12回なかしべつ牛まつり	産業建設常任委員長
10日	中標津農業高等学校入学式	議長	4日	根室地方総合開発期成会定期総会 （根室市）	産業建設常任委員長
10日	岩谷学園ひがし北海道日本語学校入 学式	議長	6日	乳牛感謝祭	正副議長・ 正副議長委員・ 三常任委員長
11日	岩谷学園ひがし北海道IT専門学校入 学式	議長	7日	6月定例会議件事前説明	全委員
11日	議会運営委員会	全委員	8日	議会広報特別委員会	議員13名出席
12日	厚生常任委員会視察（請願審査）	全委員	8日	根釧東部森林管理署・中標津町共催 植樹祭	
13日	伊東よしとか根室管内4町合同国政 報告会	議長	11日	北海道町村議会議長会定期総会（札 幌市）	議長
16日	厚生常任委員会	欠席2名	13日	議会運営委員会	全委員
17日	総務文教常任委員会	全委員	17日	総務文教常任委員会	全委員
18日	産業建設常任委員会（猟友会との懇 談会）	全委員	17日	厚生常任委員会	全委員
19日	根室町村議会議長会定期総会	正副議長		産業建設常任委員会	全委員
23日	全員協議会（防災力アップ講座）	欠席3名		議会運営委員会	全委員
26日	議員会役員会	議長		6月定例会本会議（1日目）	全委員
30日	行政視察（釧路市議会議員）	欠席1名	18日	全員協議会	全委員
30日	議会運営委員会（議会モニター会議）	欠席1名	18日	厚生常任委員会	全委員
30日	第1回臨時会	欠席1名	19日	産業建設常任委員会	全委員
30日	全員協議会	欠席1名	19日	総務文教常任委員会	全委員
30日	中標津町議会議員会総会	欠席1名	20日	議会運営委員会	全委員
30日	中標津地域森林・林業・林産業活性 化議員連盟総会	欠席1名	21日	6月定例会本会議（2日目）	全委員
30日	正副委員長会	三常任正副委員長		全員協議会	全委員
5月1日	第95回全国統一メーデー中標津地区 集会	議長	22日	自由民主党北海道第七選挙区支部定 期大会（釧路市）	議長
13日	総務文教常任委員会	全委員	24日	釧路中標津道路整備促進期成会総会	議長
15日	厚生常任委員会（請願審査）	全委員		中標津空港利用促進期成会総会	議長
21日	産業建設常任委員会	全委員	25日	議会広報特別委員会	全委員
21日	全国町村議会議長・副議長研修会 （東京都）	副議長	26日	議会広報特別委員会	全委員
23日	中標津町商工会通常総代会	産業建設常任委員長	28日	釧根林活連絡会議役員会（釧路市）	高橋根室林活会長
23日	根室市議会北方領土・水産対策特別 委員会正副委員長来庁	議長	29日	厚生常任委員会	全委員
				労館まつり	議長

編集後記

議会広報特別委員会 委員長 あ べ たか ひろ
阿 部 隆 弘

昨年8月に議会広報研修会に参加し、誌面のわかりやすさ・親しみやすさを学び、名前へのふりがなや大見出し・中見出しのバランス・写真・表など目に留まりやすい議会だよりを目指しました。

また、委員会代表質問の掲載もあり、限りある誌面により多くの記事を掲載できるよう、行政報告をはじめ、臨時会、広域連合・一部事務組合の議会、意見書の内容をQRコードでHPへの掲載にして、ページの確保を図りました。

2年間にわたり、議会だよりの編集の難しさを痛感しました。

これからもより親しみやすい議会だよりを町民の皆さんにお届けできるよう、しっかりと引き継ぎ編集後記といたします。



議会だよりに対するご意見をお寄せください。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
中標津町役場

TEL (0153) **73-3111** FAX (0153) **73-5333**
〈議会事務局にご連絡を〉

・ホームページは <https://www.nakashibetsu.jp> ・メールは gikai@nakashibetsu.jp



ご意見はこちらから

発行／北海道中標津町議会

編集／議会広報特別委員会